

高知県感染症発生動向調査（週報）

2018年 第15週 （4月9日～4月15日）

★お知らせ

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第14週の3.43から第15週は5.23と増加しています。県全域から報告があり、須崎で急減していますが、幡多、中央東で急増、安芸、中央西で増加しています。

基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が4例報告されています。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス7例、ロタウイルス1例、細菌のカンピロバクター属菌やサルモネラ属菌を原因とする胃腸炎2例や「感染性胃腸炎多数」「胃腸炎が目立っている」の報告があります。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも14例の報告があることから引き続き注意が必要です。

病原体検出情報では、第15週に須崎から搬入された検体からNorovirus GI NTが1例、高知市から搬入された検体からSapovirus genogroup unknownが1例検出されています。

乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。ノロウイルス性胃腸炎は、通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあることから注意が必要です。

＜予防方法＞ 感染予防の基本は手洗いです

人への感染経路は、主に経口（食品、糞便）です。食品を除けば大半が手に付着したウイルスが口に入って感染します。感染防止策は「手洗い」が基本ですので帰宅時・調理前・食事前・トイレの後に石けんを使ってよく手を洗いましょう。また、感染した人の便や吐物には、大量のウイルスが含まれていますので直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認した上で使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しましょう。）また、調理をする場合は、十分加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第14週の0.85から、第15週は0.67と減少しています。安芸で急減、須崎、中央東で減少していますが、中央西で増加しています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザA型が28件（84.8%）、インフルエンザB型が5件（15.2%）となっています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2018年第11～15週）ではB（山形系統）の検出割合が最も多く48.1%、次いでAH3が43.6%、AH1pdm09が5.0%、B（ビクトリア系統）が2.9%、B（系統不明）が0.4%の順でした。

県内におけるインフルエンザの報告数はピーク時（第6週：定点当たり67.67）の約1/100に減少していますが、報告が続いているので、外出後の手洗い等の感染予防、感染拡大予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

厚生労働省 インフルエンザ（総合ページ）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/index.html

○ヒトメタニューモウイルス（hMPV）感染症に気を付けて！

定点医療機関からのホット情報では、ヒトメタニューモウイルスによる感染症の報告が、第15週に18例報告されています。安芸1例、高知市7例、中央西2例、須崎6例、幡多2例の報告があり、年齢別にみると0歳4例、1歳6例、2歳3例、3歳2例、4歳2例、20～24歳1例となっています。

ヒトメタニューモウイルス感染症の流行時期は3～6月が中心で、1歳から2歳に多く、主な症状は、咳、

発熱、鼻水です。重症化すると、喘鳴（ゼーゼー）、呼吸困難が見られます。

免疫を獲得しづらいため再感染を頻繁に起こすとされています。有効なワクチンはまだありませんので感染予防には、手洗い、うがい、マスクの着用、接触感染対策が大切です。

国内では、流行時期に高齢者施設などで hMPV を原因とする呼吸器感染症の集団発生が散見されていますので注意が必要です。

○百日咳に気を付けて！

第 15 週に百日咳の発生届けが須崎福祉保健所管内から 5 例報告されました。（先週週報のホット情報記載分）

2018 年にはいって高知県内の百日咳の届出は合計 58 例となっています。また、第 15 週のホット情報では須崎から、7 例の百日咳の報告があります。

百日咳は、感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や接触感染により感染します。そのため、比較的軽い症状の患者や感染しても症状が軽いため百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することも考えられることから注意して下さい。

<予防方法> 飛沫感染予防には、手洗い、咳エチケットです

- ・生まれた直後から百日咳にかかる可能性があります。咳が続いている人は、百日咳の可能性も考えて、赤ちゃんに注意して接しましょう。
- ・外出時にはマスクを着用し、人混みはなるべくさけ、帰宅時には、手洗いを励行しましょう。
- ・定期予防接種があります。ワクチンは生後 3 ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○沖縄県における麻疹患者の発生状況について！

2018 年 3 月 23 日、沖縄県内を旅行中の台湾からの旅行者が麻疹と診断されたと報告がありました。以降、この患者（初発例）と接触歴のあった二次感染例を中心に、沖縄県内では麻疹患者の発生が続いています。また、4 月 12 日愛知県から、3 月 28 日から 4 月 2 日の期間に沖縄県に旅行歴のある患者の報告がありました。初発例は感染性のある期間中に広く沖縄県内を移動していたこと、二次感染例が沖縄県内の広い地域から報告されていることから、今後、沖縄県内及び県外での感染拡大が懸念されています。

県民の皆様へお願い

- 1、麻疹は予防接種により感染リスクが少なくなる疾患です。定期接種の対象者は接種対象期間中にかかりつけ医に相談し、接種を受けることが重要です。
- 2、麻疹を疑う症状（発熱、咳、鼻汁、その後発疹等）があった場合は、必ず受診前に医療機関に連絡し、麻疹を疑う旨を伝えた後、医療機関の指示に従い受診し、周囲に感染を上げないようにご注意ください。

各医療機関の皆様へお願い

- 1、発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、麻疹の可能性も考慮し、渡航歴・旅行歴・麻疹含有ワクチンの接種歴・麻疹罹患歴を確認するとともに、感染拡大予防策の徹底をお願い致します。
- 2、麻疹（疑い例を含む）診断時には管轄の保健所又は福祉保健所までご連絡をお願い致します。

沖縄県衛生研究所：

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/measles.html>

国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

咳エチケット

- ★ 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- ★ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- ★ 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
- ★ 咳やくしゃみをした後は、石鹸を使用して、よく手を洗いましょう。

☆山や草むらでの野外活動の際にはダニに注意！

★日本紅斑熱や SFTS に注意しましょう

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かくなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を 腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は 使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋
※市販の虫除け剤（忌避剤）は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

SFTSはマダニからの感染が一般的ですが、最近の研究で、SFTSウイルスに感染し、発症している野生動物やイヌ・ネコなどの動物の血液からSFTSウイルスが検出されています。このことは、SFTSウイルスに感染している動物の血液などの体液に直接接触した場合、SFTSウイルスに感染することも否定できませんので、動物に触った後は必ず手洗いをするなどの感染予防に努めましょう。また、体調不良の動物と接触した後、発熱等の症状が出た時は、早めに医療機関を受診してください。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

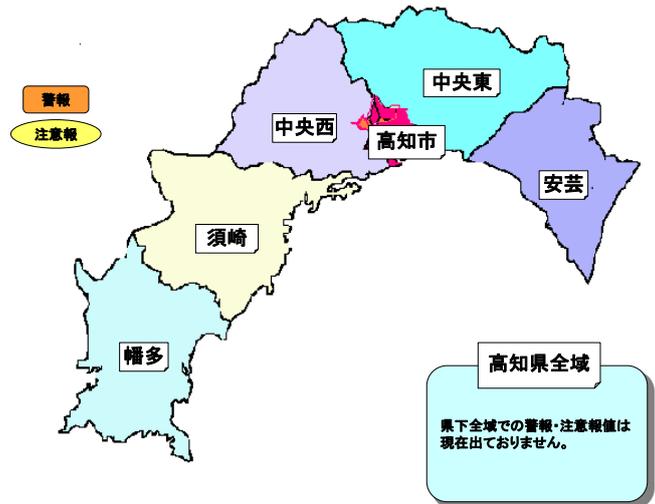
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↗	5. 2 3	須崎で急減していますが、幡多、中央東で急増、県全域、安芸、中央西で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	1. 1 0	中央東で急減していますが、安芸、須崎、幡多で急増、県全域で増加しています。
インフルエンザ	↘	0. 6 7	安芸で急減、県全域、須崎、中央東で減少していますが、中央西で増加しています。
RSウイルス感染症	↗	0. 3 3	幡多で急減していますが、中央東で急増、県全域、高知市で増加しています。
手足口病	↑	0. 2 7	中央東で急減、高知市で減少していますが、県全域、幡多、中央西で急増しています。

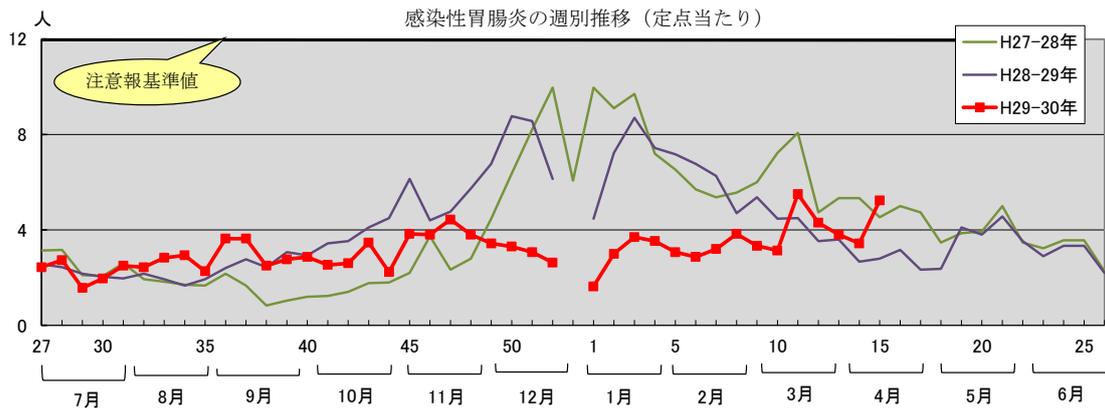
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

○感染性胃腸炎 第15週：5.23 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 5.23 (前週：3.43) と増加しています。須崎 1.50 (前週：4.50) で急減していますが、幡多 6.60 (前週：2.20) 中央東 6.29 (前週：2.29) で急増、安芸 7.50 (前週：4.50) 中央西 3.00 (前週：2.33) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H28-H29年とH29-H30のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
15	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	2	男	須崎	Norovirus GI NT
15	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	1	女	高知市	Sapovirus genogroup unknown

前週以前

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
12	下気道炎	39℃,咳嗽,下気道炎,	1	男	中央東	Adenovirus 5

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	37	70歳 男	高知市
5類	百日咳	1	58	5~9歳 男	須崎
		1		5~9歳 男	
		1		5~9歳 女	
		1		5~9歳 男	
		1		10~14歳 男	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	hMP 感染症 1 例 (2 歳女)
中央東	早明浦病院小児科	感染性胃腸炎多数
高知市	高知医療センター小児科	ヒトメタニューモウイルス 1 例 (2 歳男) インフルエンザ A 型 1 例 (1 歳)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 2 例、B 型 1 例 胃腸炎が目立っている
	けら小児科・アレルギー科	hMPV 気管支炎 5 例 (0 歳、1 歳 3 人、24 歳) サルモネラ O-9 腸炎 1 例 (7 歳) カンピロバクター腸炎 1 例 (9 歳) ノロウイルス腸炎 1 例 (1 歳) ロタウイルス 1 例 (4 歳)
	細木病院小児科	ノロ 3 例 (1 歳男、4 歳男、5 歳女)
	三愛病院小児科	hMPV 1 例 (3 歳男)
中央西	日高クリニック	ヒトメタニューモウイルス感染症 1 例 (1 歳女) ヒトメタニューモウイルス気管支炎 1 例 (4 歳男)
	石黒小児科	水痘 1 例 (2 歳男：予防接種 1 回済み) 口唇ヘルペス 1 例 (3 歳女)
	くぼたこどもクリニック	溶連菌感染症 1 例 (2 歳女：高知市)
須崎	もりはた小児科	ノロウイルス胃腸炎 3 例 ヒトメタニューモウイルス感染症 6 例 (3 ヶ月、11 ヶ月、1 歳、2 歳、3 歳、4 歳) 百日咳 (Lamp 陽性) 7 例 (3 歳、4 歳、5 歳、7 歳 2 人、10 歳 2 人)
幡多	さたけ小児科	ヘルペス歯肉口内炎 1 例 (2 歳女) hMPV 1 例 (8 ヶ月女)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 陽性 1 例 (1 歳女)

★全国情報

第13号 (3月26日～4月1日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核311例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症11例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎8例、重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病2例、デング熱2例
マラリア1例、レジオネラ症7例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症28例
急性脳炎5例、クリプトスポリジウム症1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症14例、後天性免疫不全症候群10例
侵襲性インフルエンザ菌感染症5例、侵襲性髄膜炎菌感染症3例、
侵襲性肺炎球菌感染症43例、水痘 (入院例に限る) 5例、梅毒67例、
播種性クリプトコックス症7例、破傷風3例、百日咳46例、麻しん4例

報告遅れ：E型肝炎2例、デング熱2例、レジオネラ症4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8例
急性脳炎6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症9例、水痘 (入院例に限る) 1例、梅毒58例
播種性クリプトコックス症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、百日咳20例
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第15週 平成30年4月9日(月)～平成30年4月15日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第15週							計	前週	全国(14週)	高知県(15週末累計)		全国(14週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/4/15				H30/1/1～H30/4/8			
インフルエンザ	インフルエンザ		1	5	19	5	2		32 (0.67)	41 (0.85)	9,859 (2.00)	20,798 (433.29)	1,724,281 (348.69)			
小児科	咽頭結核熱				3		1	1	5 (0.17)	1 (0.03)	798 (0.25)	59 (1.97)	12,722 (4.03)			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7		13	2	6	5	33 (1.10)	20 (0.67)	5,887 (1.87)	594 (19.80)	102,077 (32.32)			
	感染性胃腸炎		15	44	53	9	3	33	157 (5.23)	103 (3.43)	13,525 (4.29)	1,607 (53.57)	211,048 (66.83)			
	水痘					1			1 (0.03)	5 (0.17)	1,117 (0.35)	61 (2.03)	12,525 (3.97)			
	手足口病				1	2		5	8 (0.27)	3 (0.10)	533 (0.17)	140 (4.67)	6,985 (2.21)			
	伝染性紅斑				1				1 (0.03)	1 (0.03)	256 (0.08)	15 (0.50)	3,030 (0.96)			
	突発性発疹		1	1	2			2	7 (0.23)	9 (0.30)	1,337 (0.42)	106 (3.53)	14,778 (4.68)			
	ヘルパンギーナ								(0.00)	(0.00)	60 (0.02)	4 (0.13)	675 (0.21)			
	流行性耳下腺炎							1	1 (0.03)	2 (0.07)	443 (0.14)	11 (0.37)	6,392 (2.02)			
	RSウイルス感染症		1	1	8				10 (0.33)	8 (0.27)	1,001 (0.32)	163 (5.43)	18,088 (5.73)			
眼科	急性出血性結核炎								(0.00)	(0.00)	17 (0.02)	(0.00)	138 (0.20)			
	流行性角結核炎								(0.00)	(0.00)	506 (0.72)	7 (2.33)	6,020 (8.64)			
基幹	細菌性髄膜炎								()	(0.00)	10 (0.02)	2 (0.25)	119 (0.25)			
	無菌性髄膜炎								()	(0.00)	10 (0.02)	1 (0.13)	147 (0.31)			
	マイコプラズマ肺炎				2				2 (0.25)	2 (0.25)	60 (0.13)	24 (3.00)	1,131 (2.36)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	1 (0.13)	8 (0.02)	9 (1.13)	58 (0.12)			
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)							4	4 (0.50)	2 (0.25)	203 (0.42)	15 (1.88)	1,505 (3.14)			
	計(小児科定点当たり人数)	25 (12.25)	52 (7.16)	101 (8.46)	19 (5.67)	14 (6.50)	50 (9.20)	261 (8.09)			35,630	23,616 (525.29)	2,121,719			
前週(小児科定点当たり人数)	16 (7.00)	35 (4.54)	101 (8.22)	14 (4.13)	13 (5.75)	19 (3.60)		198 (5.92)								

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第15週							計	前週	全国(14週)	高知県(15週末累計)		全国(14週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/4/15				H30/1/1～H30/4/8			
インフルエンザ	インフルエンザ		0.25	0.45	1.19	1.00	0.50		0.67	0.85	2.00	433.29	348.69			
小児科	咽頭結核熱				0.27			0.50	0.20	0.17	0.03	0.25	1.97	4.03		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.50		1.18	0.67	3.00	1.00	1.10	0.67	1.87	19.80	32.32			
	感染性胃腸炎		7.50	6.29	4.82	3.00	1.50	6.60	5.23	3.43	4.29	53.57	66.83			
	水痘					0.33			0.03	0.17	0.35	2.03	3.97			
	手足口病				0.09	0.67			1.00	0.27	0.10	4.67	2.21			
	伝染性紅斑								0.03	0.03	0.08	0.50	0.96			
	突発性発疹		0.50	0.14	0.18			1.00	0.20	0.23	0.30	0.42	3.53	4.68		
	ヘルパンギーナ								0.00	0.00	0.02	0.13	0.21			
	流行性耳下腺炎								0.20	0.03	0.07	0.14	0.37	2.02		
	RSウイルス感染症		0.50	0.14	0.73				0.33	0.27	0.32	5.43	5.73			
眼科	急性出血性結核炎								0.00	0.00	0.02	0.00	0.20			
	流行性角結核炎								0.00	0.00	0.72	2.33	8.64			
基幹	細菌性髄膜炎								0.00	0.00	0.02	0.25	0.25			
	無菌性髄膜炎								0.00	0.00	0.02	0.13	0.31			
	マイコプラズマ肺炎				0.40				0.25	0.25	0.13	3.00	2.36			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.00	0.13	0.02	1.13	0.12			
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)							4.00	0.50	0.25	0.42	1.88	3.14			
	計(小児科定点当たり人数)	12.25	7.16	8.46	5.67	6.50	9.20	8.09				525.29				
前週(小児科定点当たり人数)	7.00	4.54	8.22	4.13	5.75	3.60		5.92								

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2018年4月16日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。